

世界に誇れる「かしこい交通社会」を目指して



豊田市

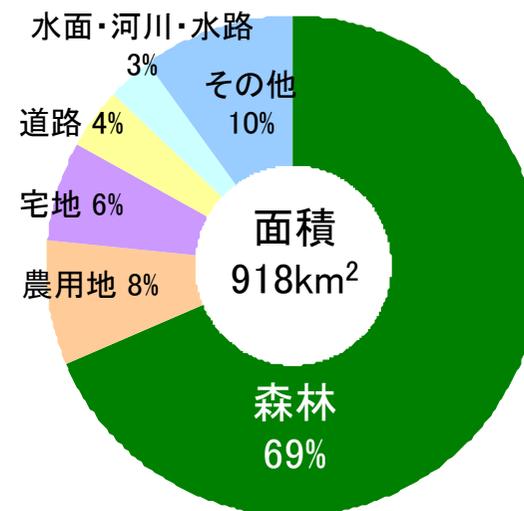
豊田市の紹介

クルマの街

産業も生活も自動車を中心

乗用車の保有台数は1世帯当たり1.6台(2011年)

製造品出荷額等
全国第1位
10兆6272億円
(2010年)



- ◆ 合併で、市域の約7割が森林
- ◆ 産業都市と中山間地の過疎地域が共存
- ◆ 車のイメージが強いが、農作物の生産も多い

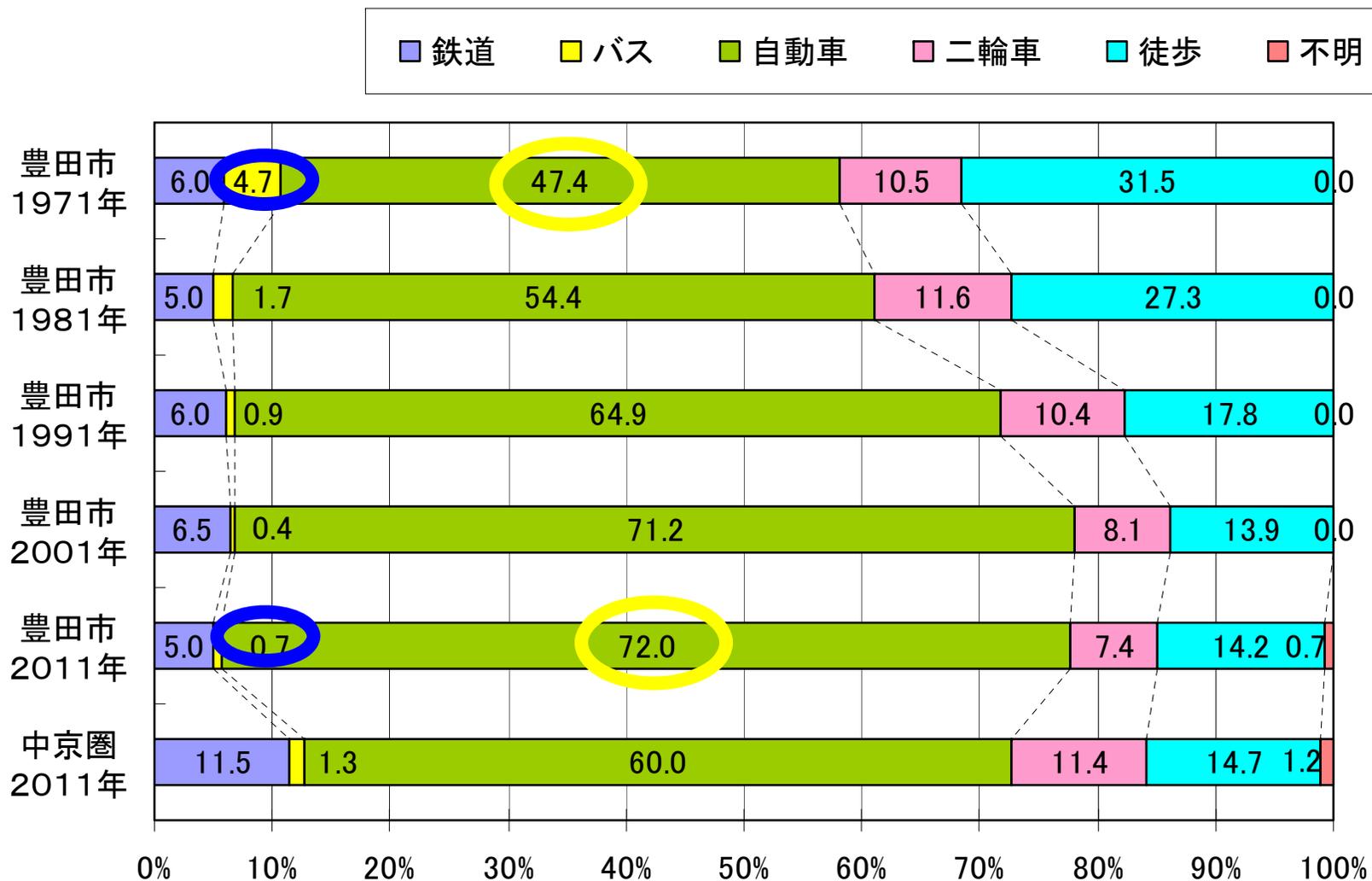
新市誕生 2005年4月
人口 42.3万人 (2012年4月)
面積 918km² (愛知県の約2割)

日本の縮図といえる都市



課題 低い公共交通利用率、高い自動車依存率

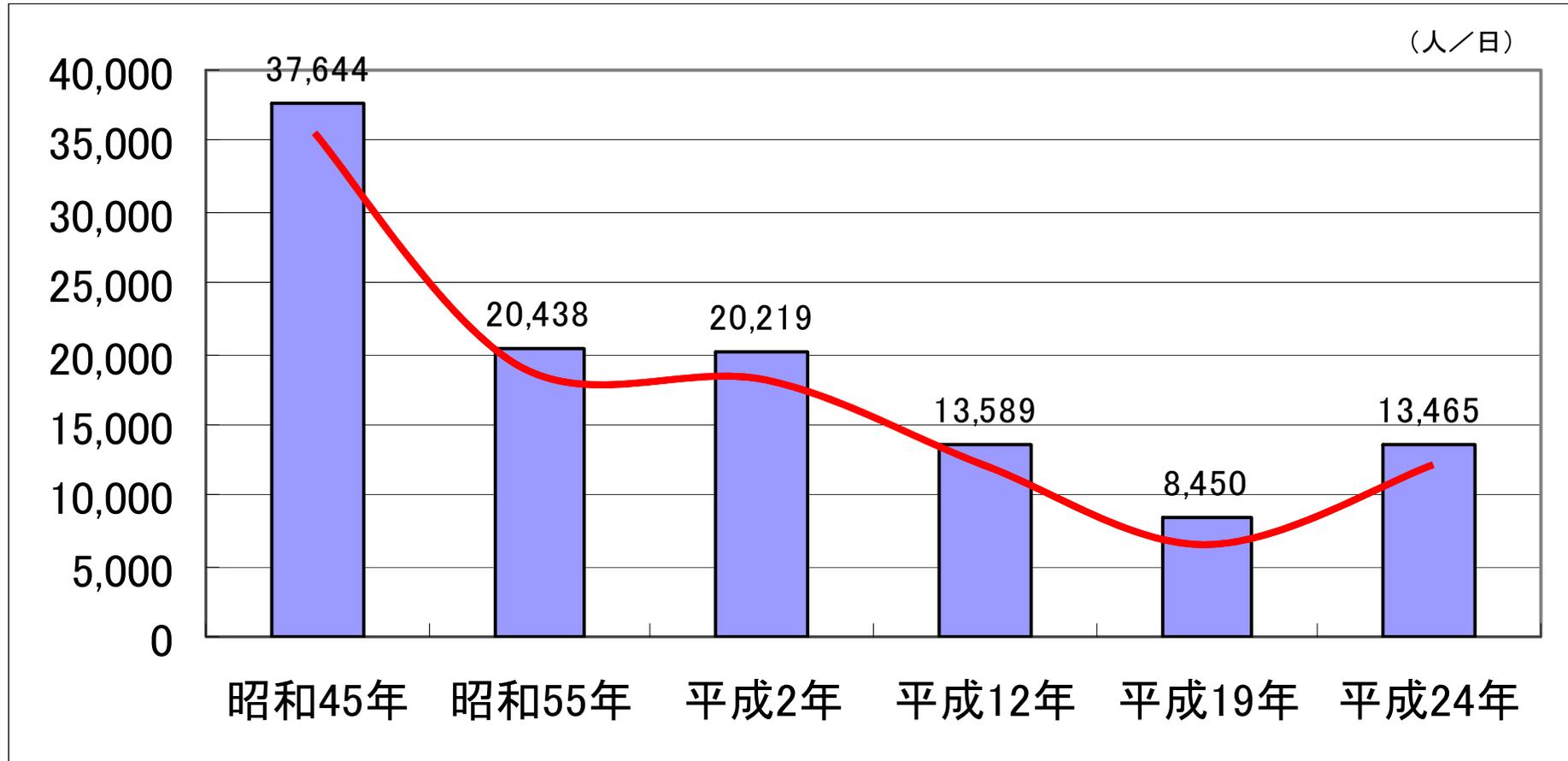
豊田市の代表交通手段分担率



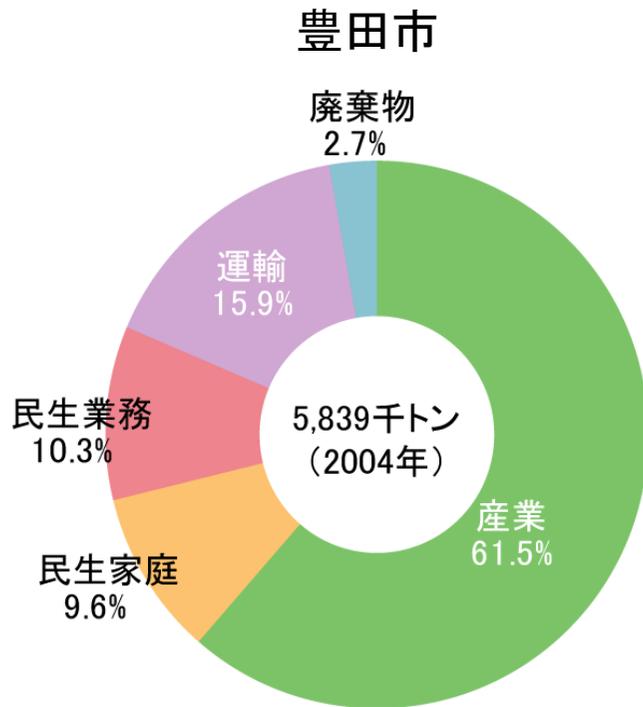
出典: 第5回中京都市圏パーソントリップ調査

回復し始めたバス利用者数

◆バスの一日あたり利用者数の推移



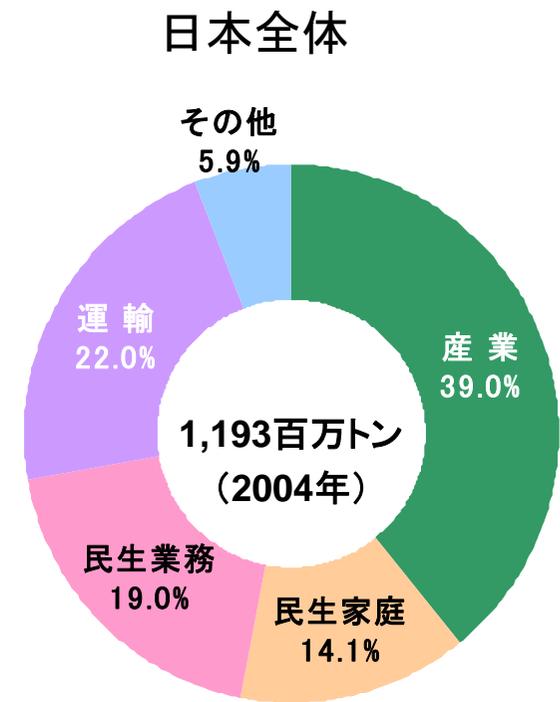
二酸化炭素の排出量



面積
全国比 約0.24%

人口
全国比 約0.33%

CO₂排出量
全国比 約0.49%



- 全国比率では、面積・人口比に対して、**CO₂排出量が多い**
- 特徴として、**産業分野での排出割合が大きい**

低炭素交通システムの構築(概念図)



多様な交通手段により、人の移動における低炭素化を実現

様々な交通流情報の高度利用促進

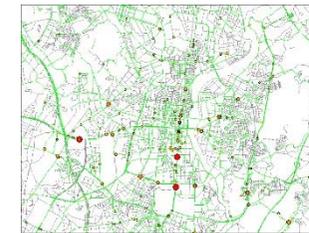
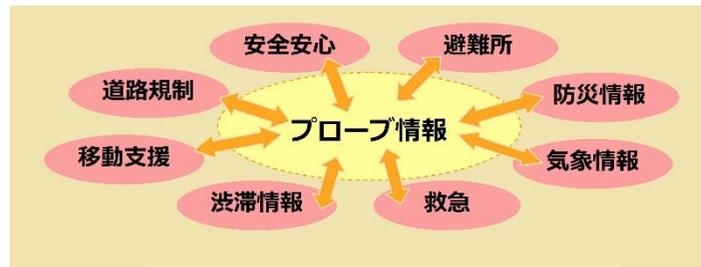


車が持っている情報を集めると
色々なことが出来るんですよ！

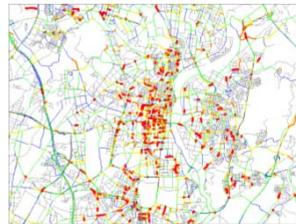
プローブ情報を活用した新たな交通サービスの検討



平均速度マップ



ヒヤリハットマップ



CO2排出マップ



避難所情報+現場情報投稿機能

プローブ情報を活用した新たな情報提供システムのあり方を検討しています

※プローブ情報・・・ 車両を通じて収集される位置・時刻・路面状況等のデータ

キャッシュレス駐車場(DSRC)



ETC通信により、自動でゲートが開閉し、駐車券が不要になるので、出入り口での渋滞が減少します。

移動支援ポータルサイトみちなびとよた



広域な豊田市内の移動をカバーする、公共交通情報や駐車場満空などのお役立ち情報を掲載しています。

多様な交通手段の合理的選択と組合せ利用の促進



みんなに公共交通を利用してもらうために、いろいろな取組みをしているんだね！

パーク&ライド駐車場



鉄道、バスとの組み合わせにより、公共交通への転換を行う。

とよたおいでんバス 地域バス



14路線

16地域



市街地と各支所等を結ぶ基幹バスと、地域内の移動をカバーする地域バスが運行しています。

バス乗車時の とよたエコポイント発行



バスに乗ると、各種エコグッズと交換可能なエコポイントが貯まります。

バスロケーションシステム



バスの利便性向上のため、バスがどこを走っているのかをインターネットでチェック。

モビリティ・マネジメント



自転車などの環境にやさしい交通への転換のため、企業、市民向けにエコ通勤の推進を行う。

環境負荷の小さな次世代車両の導入



次世代車両の導入で、動力源の多様化、目的に合わせた乗り物サイズの最適化など幅広い取り組みをしているね！

水素ステーション整備



水素ステーションの整備及びCO2を排出しない燃料電池バスの導入

EV・PHV普及促進



公共施設に充電施設を整備し、公用車にEV・PHVを積極的に導入

超小型電気自動車等のシェアリング Ha:mo RIDE



新しい移動手段として、超小型電気自動車と電動アシスト自転車のシェアリング実験を実施。

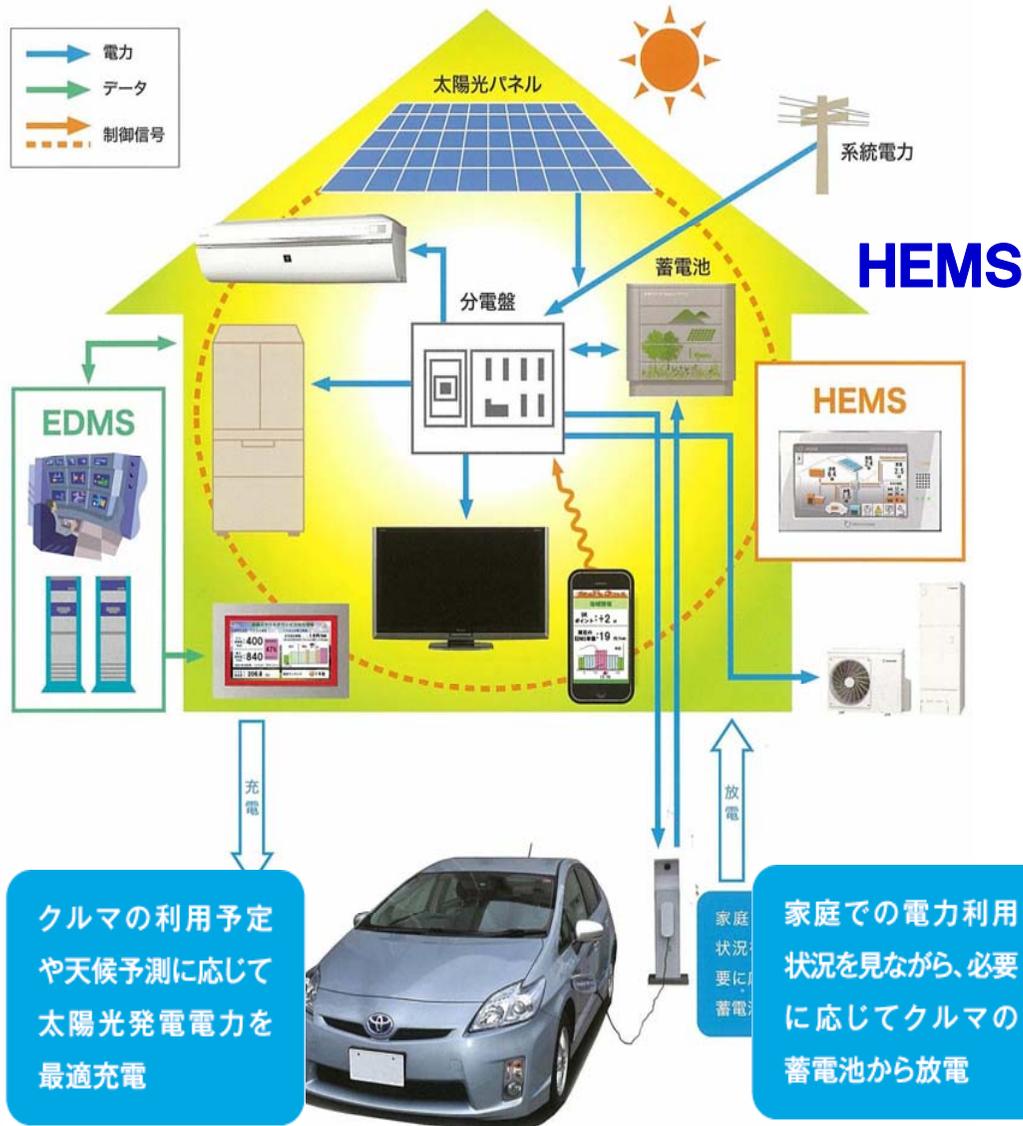
パーソナルモビリティの導入検討



交通安全学習センターの模擬市街地内などでパーソナルモビリティの社会実験を実施。

自動車の多目的利用の例(クルマとハウスの相互利用)

スマートハウス



創エネ



蓄エネ



V to H



クルマの利用予定や天候予測に応じて太陽光発電電力を最適充電

家庭での電力利用状況を見ながら、必要に応じてクルマの蓄電池から放電

目標：住宅単体でCO₂排出量を70%以上削減 (2005年比)